しゅうなん・文化財団
周南市美術博物館
郷土美術資料館・尾崎正章記念館
アート情報

Culture Information HANABATAKE
かるちゃあ通信
Art,Photo,History,etc.

花畠

2016(H28)May
5
No.253

発行　公益財団法人 周南市文化振興財団　山口県周南市徳山5854-41 (0834-22-8787) http://s-bunka.jp/top/
【美術博物館】山口県周南市花畠町10－16 (0834－22－8880) http://s-bunka.jp/bihaku/
【郷土美術資料館・尾崎正章記念館】山口県周南市富田永源（永源山公園内）(0834－62－3119) http://s-bunka.jp/kyoubi/

デビュー20周年記念

島田ゆか絵本原画展

『バムとケロのおかいもの』文溪堂 © Yuka Shimada / Ojigi Bunny Inc. 1999

2016年5月20日㊎～6月26日㊐

【開館時間】9:30～17:00(入館は16:30まで)　月曜休館　※18歳以下無料

【観覧料】一般900円(750円)／大学生700円(550円)　(　)内は前売および20名以上の団体

「ケロちゃんがはやおきをしたひは おかいもののひ　みんなでくるまにのっていちばにでかけよう!!」
（『バムとケロのおかいもの』）

バムとケロは、大好きな骨董やさんで気に入ったものを買って帰ることにしました。骨董やさんにはユニークで不思議なものがいっぱい。楽しい楽しいお買いもの。さぁ、どんなものがあるか見てみましょう！

ぞうさんのポットや、りすの栓抜き。でも何より気になるのは、バムのかぶっている変わった形の帽子。あの形からするとバムの四本指が入りそう。手袋になる?いや、そうすると、くつついているから使い勝手が…どんどん想像がふくらんでいきます。

島田さんの絵本には、ユニークで楽しい家具やおもちゃがいっぱい出てきます。もしこんな骨董やさんがあったら、思わず足を止めて入っちゃいますよね。こんな風に、読む人の想像をどんどんふくらませていくアイテムが、1つの場面にたくさん出てくることも島田さんの絵本の大きな魅力です。

1冊の本を完成させるのに、時には5年の歳月をかけて描くこともある島田さん。彼女の絵本には、費やした時間に織り込まれた小さな出来事も描き込まれているようです。

ちなみにバムの帽子は、3本耳のうさぎ「おじぎちゃん」と小さな黒耳の犬「ヤメピ」の○○○になっていました。答えは絵本を見てのお楽しみ♪

周南市美術博物館 常設展示室

■常設観覧料：一 般　200円(160円)　大学生等　100円(80円)
(　)内は 20 名以上の団体
※18歳以下および70歳以上無料　※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
※林忠彦賞受賞記念写真展の会期中(5月6日～15日)は無料

■月曜休館

展示室4 林忠彦記念室

「日本の画家」

①5/1(日)～7/31(日)　②8/2(火)～10/30(日)

人物写真を得意とした林忠彦の人物シリーズ3作目「日本の画家」を2回にわけて紹介!

林忠彦は人物写真を得意とし、人物の背景に日常性を写し込む独自の手法を用いました。

「日本の画家」は「日本の作家」「日本の経営者」につづく人物シリーズの3作目です。林は画家との対峙を「決闘写真術」と述べています。林がとらえた画家たちの素顔をご覧ください。

東山 魁夷

展示室3 コレクション展示室

春爛漫～花咲く美博のコレクション展

～5月15日(日)まで展示中

宮崎進「光みつる大地」1999年　油彩、麻布・パネル

三輪栄造「リップスティック」1995年　陶器

新緑の美しい季節となりました。美博では収蔵品の中から、春を感じる作品を一堂に展示しています。宮崎進の代表作「花咲く大地」や「光みつる大地」をはじめ、河上大二の「夜桜」、松林桂月の「春秋二曲屏風」など、展示室が春でいっぱいになる展覧会です。みなさんぜひ美博で春をお楽しみください。

展示室5 徳山の歴史 特設コーナー

「徳山毛利家の端午飾り」

5月31日(火)まで展示中

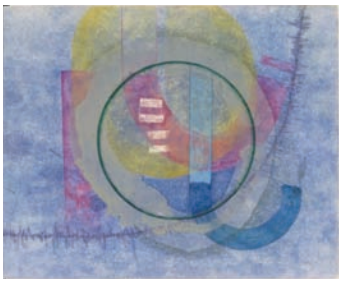
徳山毛利家には、明治41(1908)年生まれの12代元靖氏の初節句にあたって、元家臣や他家から贈られた武者人形が伝えられています。

神功皇后と武内宿禰

まど・みちおコーナー

まど・みちおの抽象画には、タイトルがつけられていない作品もあります。

作品を見て、何をイメージしますか?自由な発想でご覧ください。



「(タイトルなし)」　制作年不詳
水彩、ボールペン・紙

「(タイトルなし)」　制作年不詳
水彩、万年筆、ボールペン、色鉛筆・紙

今回の展示内容は、5月31日(火)までです。

周南市美術博物館　その他の5月の展覧会

午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)　入場無料

■第８回書苑書道会展 ―――― 4月30日(土)～5/1日(日)(最終日は午後４時終了)　【展示室1・2】

宮崎歯科
徳山動物園前・ＴＥＬ(0834)31－7230

夜の8時まで診療
ただし土曜日は7時まで
(日・月・祝は休診)
歯の健康大切に!

びはく美博クイズ～!〈28〉もんだい

今年の林忠彦賞受賞、船尾修さんの作品

左の写真(ひだり しゃしん)、みんなが(み)よく見てる写真とは
形(かたち)が少(すこ)し違(ちが)って真四角(まし かく)だね。
どうしてなんだろう?

こたえはどこかのページにあるよ。さがしてみよう!

第25回 林忠彦賞「フィリピン残留日本人」船尾 修

― 授賞式並びに祝う会・受賞記念写真展を開催 ―

■授賞式並びに祝う会

4月15日(金)
コートヤード・マリオット
銀座東武ホテル(東京)

受賞者の船尾修さんに、周南市文化振興財団理事長・周南市長 木村健一郎より、賞状と目録、ブロンズ像が授与されました。

授賞式には、大石芳野副委員長をはじめ、日本写真家協会会長熊切圭介氏や歴代受賞者の方々など、大勢の写真関係者が列席し、受賞を祝いました。

受賞の喜びを語る船尾修さん

木村理事長・市長より
表彰状、副賞、ブロンズ像が授与されました

■受賞記念写真展

4月15日(金)～21日(木)
富士フイルムフォトサロン
(東京ミッドタウン)

受賞作「フィリピン残留日本人」を展示。戦後フィリピンに残された日系日本人ひとりひとりと真摯に向き合った迫真のドキュメンタリー作品を観に、連日多くの方が来られました。

東京ミッドタウン、フジフイルムスクエア入口

展示風景

今後の受賞記念写真展

■周南展 林忠彦の故郷
周南市美術博物館
5/6(金)～15(日)
9:30～17:00 月曜休館

トークショー
「私はこうして写真家になりました」
5/7(土)10:30～
話し手：船尾 修
聞き手：有田 順一 (周南市美術博物館館長)
定　員：先着40名 (電話申込 0834-22-8880)

■東川展(北海道) 写真の町・東川
東川町文化ギャラリー
11/27(日)～12/12(月) 会期中無休
10:00～17:30(最終日は 15:00 まで)

しゅうなん アート・ナウ 2016 開催しました。

今年もたくさんの方にご観覧いただきました。ありがとうございました。

春のサロンコンサート

～たくさんのご来場ありがとうございました～

今年の春のサロンコンサートは、4月10日(日)に開催しました。昨年同様グループひびきによる和楽器と、特別出演された田嶋謙一さんや竹勇会のみなさんの尺八がコラボして、すばらしい音色がロビーいっぱいに響きました。また、花柳町京さんの優美な舞も加わり華やかさを増し、観客をおおいに魅了しました。

美博(びはく)クイズ～!〈28〉 こたえ

真四角(ましかく)(6×6cm)のフィルムを使(つか)って撮(と)った写真(しゃしん)だからなんだ。フィルムのサイズによってプリントしたときの写真の形(かたち)も違(ちが)うんだね。

いろいろな大きさのフィルム

日通の えころじこんぽ
お見積り無料。まずはお電話を!
0120-154022 ひっこし はにっつう
www.nittsu.co.jp/hikkoshi/

ART and HISTORY インフォメーション

周南	周南市文化会館 ☎0834-22-8787	■「漢陽寺庭園と重森三鈴」中田勝康写真展 4／29(金・祝)～5／3(火・祝) ■第13回大中博子キルトサークル作品展 5／19(木)～5／21(土)
	周南市美術博物館 ☎0834-22-8880	■第8回書苑書道会展 4／30(土)～5／1(日) ■第25回林忠彦賞受賞記念写真展「フィリピン残留日本人」 5／6(金)～5／15(日) ■デビュー20周年記念「島田ゆか絵本原画展」 5／20(金)～6／26(日)
	周南市郷土美術資料館 ☎0834-62-3119	■林忠彦写真展「東海道を撮る」 ～5／22(日) ■尾崎正章常設展「花をみつめて」 ～5／22(日)
防府	毛利博物館 ☎0835-22-0001	■[企画展]端午 ～5／29(日)
山口	山口県立美術館 ☎083-925-7788	■[特別展] リバプール国立美術館所蔵 英国の夢　ラファエル前派展 ～5／8(日)
	中原中也記念館 ☎083-932-6430	■[企画展I] DADA 1916→1923 ツァラそして中也 ～7／24(日)
萩	山口県立萩美術館・浦上記念館 ☎0838-24-2400	■[特別展]デュッセルドルフ美術館 ゲルダ・ケプフ・コレクション アール・ヌーヴォーのガラス ～6／19(日)
	萩博物館 ☎0838-25-6447	■[特別展] 高杉晋作一五〇年祭 高杉晋作の恋文 ～ ラブレター ～ ～5／8(日)
長門	香月泰男美術館 ☎0837-43-2500	■[企画展]花といきもの －香月家台所壁画の住人たち－ ～5／30(月)
島根	島根県立石見美術館 ☎0856-31-1860	■[企画展] マリメッコ展 －デザイン、ファブリック、ライフスタイル－ ～7／11(月)
広島	広島県立美術館 ☎082-221-6246	■[特別展] 徳川家康没後400年記念 天下太平　徳川名宝展 ～5／29(日)
	広島市現代美術館 ☎082-264-1121	■[特別展]ディン・Q・レ展:明日への記憶 ～5／15(日)
	ひろしま美術館 ☎082-223-2530	■[特別展] ボストン美術館 ヴェネツィア展 魅惑の都市の500年 ～6／12(日)
	広島県立歴史博物館 ☎084-931-2513	■[部門展] 願いをかなえ　災いをはらう －遺跡から見つかった中世まじないの世界－ ～6／5(日)
福岡	九州国立博物館 ☎050-5542-8600	■[特別展]始皇帝と大兵馬俑 ～6／12(日)
	福岡県立美術館 ☎092-715-3551	■色彩の奇跡　印象派展 セザンヌ、モネ、ルノワール、ゴッホ、ゴーギャン、マティスなど 印象派とその時代の巨匠たち ～6／5(日)
	北九州市立美術館・分館 ☎093-562-3215	■[企画展] 再興第100回院展 ～5／8(日)
	福岡市美術館 ☎092-714-6051	■[特別展]物・語―近代日本の静物画― 5／14(土)～7／3(日)
	福岡市博物館 ☎092-845-5011	■[特別展]魔女の秘密展 “魔女とは誰だったのか?” ～5／29(日)

～永源山公園の中にある美術館～

周南市郷土美術資料館・尾崎正章記念館

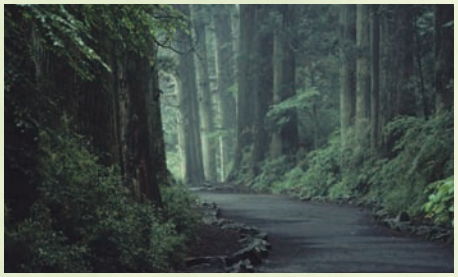
■ 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
■ 観覧料：一般200円(160円) 学生100円(80円)
(　)内は20名以上の団体 ※18歳以下および70歳以上無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳等をご持参の方とその介護の方は無料
■ 休館日：月曜日 ※5/23～6/24は展示替・施設メンテナンスのため休館します。

5月22日(日)まで開催中!

■林忠彦写真展「東海道を撮る」〈中・小展示室〉

■尾崎正章常設展「花をみつめて」〈大展示室〉

アトリエ展示


林忠彦「箱根の杉並木」1990年

周南市出身の写真家・林忠彦が、晩年に病魔と闘いながら最後のライフワークとして完成させたのが、『東海道』です。助手や多くの写友に支えられながら撮影した、林の仕事への執念の結晶でもある作品が並びます。

アネモネ、けし、椿や菜の花など、尾崎正章が描いた花の絵を集めて展示します。福川の海や漁船の絵が印象的な尾崎ですが、花の絵では風景画とはまた違った一面を見ることが出来ます。のびやかな筆遣いと豊かな色彩で表現された尾崎ならではの「花」をぜひご覧ください。

尾崎正章　「けしの花」1970年頃 油彩・キャンバス

次回展覧会のお知らせ

さだなが まみ作品展
―画面の中に物語を―
6／25(土)～8／21(日)

「韻―2007」

尾崎正章常設展「山と海」
6／25(土)～8／28(日)

「鞆の浦（瀬戸内漁港）」

ミニコラム ガス燈

緑がまぶしい季節になりました。爽やかな風に誘われて出かけてみると、ツツジが咲いたり小鳥がさえずっていたり。もう少し冒険したい気持ちになります。

林忠彦賞受賞者の船尾修さんのように、世界を巡ったり、山に登ったりする冒険もあれば、世界を撮影した写真を見たり、コンサートや観劇に出かけたり、いつもと少し違うルートで散歩する冒険もあります。

身近な冒険といえば、子どもの頃に親しんだ本のことも思い出します。エルマーのぼうけん、いやいやえん、ぐりとぐら、しろくまちゃんのほっとけーきなど。読んでいる間は、本の世界へ。わくわくしながら何度も読み返したものです。

島田ゆかさんの「バムとケロ」シリーズも、見るたびに違う発見があります。私は大人になってから読んだのですが、絵本のメインストーリー以外にも「これはなんだろう?」と気になるものがたくさん描かれています。文字の物語とは別に、絵のあちらこちらでサイドストーリーが繰り広げられているのです。5月20日からの展覧会のチラシでは、ドーナツが20周年の20になっていたりして、気づくと引き込まれてしまいます。

今月も展覧会やイベントでぜひ冒険してみてください。（笹川）